

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（12月分）

留学先大学：ハンブルク大学

氏名：杉山栞里

もうすぐ新年ということで、時が経つのがとても早く感じます。今年は留学という大きな出来事もあり私にとっては特別な1年でした。海外で年越しをするのは初めてなので少しドキドキします。2020年も頑張りたいと思います。

12月のドイツは、全体的にクリスマスモードです。ドイツでは11月終り頃からクリスマスイブまでの期間をアドベントといい、各地でクリスマスマーケットが開かれます。私も、いくつかのクリスマスマーケットに行ってきたので、最後に紹介しようと思います。今回の報告書では、寮での生活について書きたいと思います。

【寮での生活】

以前の報告書でもお伝えしたとおり、私の寮はKiwittsmoor（キヴィツモア）という場所にあります。Hermann-Ehlers-Hausという名前の寮です。大学までU-Bahn（地下鉄）で約30分、中央駅まで約40分かかります。大学よりも空港の方が近く、ハンブルク空港までは約15分で行けます。最寄り駅はKiwittsmoor駅で、U-Bahn（U1）のみ通っています。寮から駅まではとても近く、徒歩3分ほどで着きます。自然に囲まれているので静かですが、私の部屋のすぐ外に線路があるので電車が通るときは少しうるさいです。昼間は約10分に1本、夜中は約30分に1本電車が通り、割と夜遅くまで走っています。

寮の近くにはスーパーなどのお店は無く、買い物をするときは電車に乗る必要があります。私がいつも食料品を買っているのは、最寄り駅から2駅離れたところにあるKauflandというスーパーです。大きめのスーパーで、食料品から日用品まで生活に必要なものはだいたいここでそろいます。

大学までは、遠いですが地下鉄1本で行けるので楽です。大学の最寄り駅はDammtorという駅ですが、地下鉄は通っていないので、私はいつもその近くのStephansplatzという地下鉄駅で乗り降りしています。

電車は、学期の初めに買うSemesterticketがあるので、ハンブルク内であれば乗り放題です。私が受けている授業は午後からが多く、帰りが20時過ぎになることもありますが、今のところ特に危ないと感じたことはありません。物乞いやホームレスの方が駅に座っていたり、夜道が暗かったりしますが慣れれば気になりません。私がドイツに来て感じたのが、ホームレスの方に対する日本との態度の違いです。私がいつも見る所

だけかもしれませんが、道端に座っているホームレスの方にお金をあげている人がたくさんいるなあと感じました。日本だったら少し警戒して避ける人が多いと思いますが、ドイツではお金をあげたり、挨拶したりするのも普通のことなんだと思いました。

また、ドイツの冬の日照時間が短いことにもびっくりしました。朝、明るくなり始めるのは8時過ぎ頃で、夕方の16時頃には暗くなり始めます。昼がとても短く感じます。しかし、クリスマスマーケットなどのイルミネーションを長く楽しめるという点では良いと思いました。

寮は4階（日本でいう5階）まであり、各階におよそ20部屋ほどあります。一人部屋、二人部屋などあるようですが、私は一人部屋です。シャワー、トイレ、キッチンが共用で、おそらく各階にそれぞれ2つずつあります。私の部屋の大きさは7畳ほどで、ベッド、洗面台、クローゼット、勉強机、いす、ごみ箱、小さい机が最初にありました。ベッドにはマットレスだけしかなかったので、布団や枕、カバーなどは自分で買いました。

寮には私のほかに日本人留学生が2名おり、どちらも私と同じく半年間の留学です。他の日本人留学生は皆1年間留学なので、半年組がこの寮に入ることです。他の寮では、4人ほどで一つのキッチンやトイレを共用するフラットメイトというものが存在するらしいのですが、私の寮ではそのようなものはなく、完全に個人で暮らしているという感じです。トイレなども10人ほどで共用しており、掃除はいつも寮の清掃員がしてくださっているので当番制などありません（自分の部屋は自分で掃除します）。シャワーなども、空いていたら入るという感じです。なので、そういう面ではあまりストレスを感じなくて済むというメリットもありますが、隣人との交流があまりないのが少し寂しいです。

ごみ捨て場は寮から出て少し歩いたところにあり、洗濯機と乾燥機は地下にあります。寮全体で洗濯機が2つ、乾燥機が1つあります。地下に洗濯物を干せる空間がありますが、私はいつも自分の部屋で干します。日本から洗濯ヒモを持ってきたので、なんとか部屋の中で引っ掛けて干しています。洗濯は1回2ユーロ、乾燥は1回1ユーロかかります。私はいつも2週間に1回のペースで洗濯します。最初の報告書でも書きましたが、洗濯のお金を払うのにICチップのようなものが必要で、銀行口座を開設した後にそのチップを作る申し込みをする必要がありました。この制度の説明をあまりされなかったもので、最初にかなり手間取ってしまいました。

いろいろと不便な点もありますが、今ではこの寮で良かったなと思っています。慣れれば割と快適で、静かな環境なので勉強に集中できるのが良いと思います。

来月は期末テストやプレゼンなどがあるので、頑張りたいと思います。また、1月末から2月初め頃に旅行に行けたらなと考えています。

【ドイツのクリスマスマーケット】

最後に、クリスマスマーケットの紹介をしたいと思います。



← ケルン

最初に行ったのがケルンです。大聖堂前のほかにもいくつか会場があり、徒歩でまわることができました。色々行きましたが、個人的にケルンのクリスマスマーケットが一番良かったです。

ニュルンベルク →

ニュルンベルクのクリスマスマーケットは、三大クリスマスマーケットのひとつで、世界一有名と言われています。運よく、クリストキントにも会うことができたので良かったです。



← ドレスデン

ドレスデンも、三大クリスマスマーケットのひとつで、世界最古のクリスマスマーケットです。会場全体がメルヘンチックで可愛かったです。ひときわ目立つのが、世界最大のクリスマスピラミッドです。

ハンブルク →

国際地域学部3年ヨーロッパ留学組でハンブルクに集まった時に行きました。また、年末に5日間ほど家族がドイツに来てくれたのですが、その時も少し行きました。家族との旅行計画や移動手段の手配などは全て私に任されたので大変でしたが、喜んでくれて嬉しかったです。

